

報告事項 No. 1 資料

令和5年度全国学力・学習状況調査
教科に関する調査と質問紙調査の説明資料

本市の授業改善が進んでいると考えられる点

国語

- 児童生徒が言葉の見方・考え方を働かせながら主体的な学びを進める学習展開
- 指導と評価の一体化を図った授業づくりや単元づくり

算数・数学

- 児童生徒一人一人に確かな学力を育むための、習熟の程度に応じたきめ細かな指導の実施
- 数学的な見方・考え方を働かせ、課題から問いを見出し、対話を通して追究、解決する学習の流れ

英語

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況が設定された言語活動の中で、生徒が英語を聞いた
り、読んだり、話したり、書いたりする授業に向けた改善

小学校<国語>

本市の授業改善が進んでいると思われる設問

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

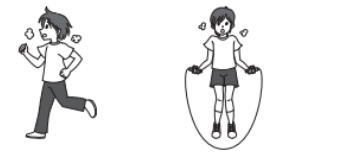
運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力^{ひびこくちから}を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。


このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段^{かいだん}の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例



腹筋運動 腕立てふせ

2
「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見
つける」設問

2 相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】、「資料2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。



【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

二 相田さんは、「資料1」と「資料2」を読んで分かったことをメモにまとめています。次の【相田さんのメモ】の「ア」に当てはまる内容として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
 たくさんの酸素を取り入れながら続ける
 ・軽いジョギング
 ・縄とび（続けてとぶ）

ア

1
 ◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん間的に大きな力を出す
 ・ふっくん運動
 ・うで立てふせ

2
 ◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん間的に大きな力を出す
 ・うで立てふせ
 ・縄とび（続けてとぶ）

3
 ◇きん力を高める運動
 しゅん間的に大きな力を出す
 ・ふっくん運動
 ・うで立てふせ

4
 ◇きん力を高める運動
 たくさんの酸素を取り入れながら続ける
 ・ふっくん運動
 ・うで立てふせ

正答 3

		川崎市	全国	差
正答率	72.5%	2%	67.4%	14.8%
誤答4を選んだ率	17.5%	0.1%		

3または4を選択した
 児童は89.7%

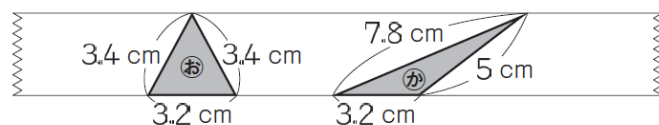
○正答率を全国と比較すると、4.8ポイント上回っている。本市においては、説明文を扱った学習で、教師が文章の解釈を伝えるのではなく、子ども自らが主体的に必要な情報を見つけていけるような学習の展開にするなど、授業改善が進んだ成果であると捉えている。しかし、資料2から必要な情報を取り出せた児童（3または4を選択した児童）は、89.7%いるが、資料1からも必要な情報を取り出せた児童（3を選択した児童）は、72.2%であり、複数の資料を結び付けて、必要な情報を見つけることにはまだ課題がある。

小学校<算数>

本市の授業改善が進んでいると思われる設問

◆2 (4) 「底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大小を判断する」設問

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊞の2つの三角形をつくります。



上の㊟と㊞の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊞の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊞の面積は等しい。**
- 4 ㊟と㊞の面積は、このままでは比べることができない。

正答 3

	3を選んだ率	正答率
川崎市	52.9%	33.2%
全国	37.6%	20.8%
差	+15.3	+12.4

3を選んだわけの正答例

㊟と㊞の底辺はどちらも3.2 cmで等しいです。
㊟と㊞の高さは、テープのはばがどこも同じ長さで等しいです。だから㊟と㊞の面積は等しいです。

○正答率を全国と比較すると12.4ポイント上回っている。また、3を選択した52.9%は、全国を15.3ポイント上回っている。本市においては、「図形領域で働かせる数学的な見方・考え方である「構成要素に着目して考える」ことを児童に意識をさせ、解決に向け見通しをもたせるなどの授業改善が進んだ成果であると捉えている。しかし、正しくわけを書けた児童は、33.2%であり、複数の情報（辺の長さ）と三角形の面積を求める公式や平行線の定義（既存の知識）を関連付けて正しい情報を読み取り、表現することにはまだ課題がある。

中学校<英語>

本市の授業改善が進んでいると思われる設問

6 「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る」設問

6 次の英文は、友達のデイビッド（David）があなたに送ったメールです。メールを読んで、デイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

_ □ ×

Events on the Weekend

Date April 13, 2023 18:45

From David

Hello. How are you?
I'm excited to stay at your house this weekend.

I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

↩

1 Rugby Game



Let's watch together!

Date & Time
Saturday, April 15
9:30 a.m. - 11:30 a.m.

Place
Midori Park

2 Flower Market



You can buy beautiful flowers!

Date & Time
Saturday, April 15
9:00 a.m. - 4:00 p.m.

Place
Hikari Garden

3 City Orchestra



You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time
Sunday, April 16
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

Place
Tsubomi Hall

4 "Cook & Eat"



Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time
Sunday, April 16
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

Place
Cooking Room "Wakaba"

(注) Market: マーケット

Orchestra: オーケストラ

正答 3

	正答率	誤答4を選んだ率
川崎市	50.6%	25.1%
全国	35.9%	35.6%
差	+14.7	-10.5

○正答率を全国と比較すると 14.7 ポイント上回っている。本市において地道に実施を推進してきた、コミュニケーションを行う目的や場面、状況が設定された言語活動の中で生徒は英語を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする授業改善が進んだ成果と捉えている。しかし、最も多かった誤答は4で、メールで相手が示した2つの条件（イベントに関する条件と、日時に関する条件）のうち、後半に書かれている I have to leave before 4 p.m. という日時に関する条件を読み取ることができていないことが考えられる。もしくは、I will have dinner with my family. という情報と "Cook & Eat" というタイトルやイラストとを結びつけてしまったことが要因と考えられる。複数の資料から読み取った情報を関連付けて考察することにはまだ課題がある。

本市の共通する課題について

複数の資料の情報を関連付けて、自分の言葉でまとめたり、自分の考えを表現したりすること

校種、教科ごとの比較的「できている点（◇）」と「課題があると考えられる点（◆）」

小学校 国語

◇目的を意識して、必要な言葉を見付けて要約することはできている。

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

中学校 国語

◇目的や場面に応じて質問する内容を検討することはできている。

◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

小学校 算数

◇一つの表やグラフから数の変化を読み取り、その特徴を数や言葉で表現することはできている。

◆複数の情報や既存の知識を関連付けて正しい情報を読み取ることに課題がある。

中学校 数学

◇与えられた問題場面において具体的な数を用いて考察の対象を明確に捉えることはできている。

◆複数のデータや情報を読み取り判断し、その判断の理由を数学的表現を用いて説明することに課題がある。

中学校 英語

◇「事実・情報を伝える」と「考えや意見を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことはできている。

◆日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指定都市の調査結果一覧

※数値は平均正答率

	小 国語	全国：67.2		小 算数	全国：62.5		中 国語	全国：69.8		中 数学	全国：51.0		中 英語	全国：45.6
1	京都市	71	1	川崎市	67	1	さいたま市	73	1	さいたま市	56	1	川崎市	53
2	川崎市	70	1	京都市	67	1	仙台市	73	2	名古屋市	55	1	さいたま市	53
2	さいたま市	70	3	さいたま市	65	3	静岡市	72	3	静岡市	54	3	横浜市	52
4	神戸市	69	3	横浜市	65	4	浜松市	71	4	川崎市	53	4	名古屋市	51
4	浜松市	69	5	広島市	64	4	札幌市	71	4	横浜市	53	5	仙台市	50
6	新潟市	68	5	神戸市	64	4	福岡市	71	4	仙台市	53	6	京都市	49
6	広島市	68	7	浜松市	63	4	京都市	71	4	京都市	53	6	相模原市	49
6	千葉市	68	7	千葉市	63	4	千葉市	71	4	千葉市	53	8	静岡市	48
6	岡山市	68	7	新潟市	63	4	岡山市	71	4	福岡市	53	8	札幌市	48
6	仙台市	68	7	静岡市	63	10	川崎市	70	10	浜松市	52	8	千葉市	48
11	横浜市	67	7	札幌市	63	10	横浜市	70	10	神戸市	52	11	浜松市	47
11	静岡市	67	12	福岡市	62	10	名古屋市	70	10	札幌市	52	11	神戸市	47
11	熊本市	67	12	堺市	62	10	広島市	70	10	岡山市	52	13	堺市	46
11	北九州市	67	12	名古屋市	62	10	新潟市	70	14	相模原市	50	14	福岡市	45
11	大阪市	67	12	岡山市	62	15	相模原市	69	14	新潟市	50	14	広島市	45
16	札幌市	66	12	仙台市	62	15	熊本市	69	14	広島市	50	16	岡山市	44
17	堺市	65	12	相模原市	62	17	神戸市	68	14	堺市	50	16	熊本市	44
17	福岡市	65	12	大阪市	62	17	北九州市	68	18	熊本市	49	16	大阪市	44
17	相模原市	65	19	熊本市	61	19	堺市	67	18	大阪市	49	19	新潟市	42
17	名古屋市	65	20	北九州市	59	19	大阪市	67	18	北九州市	49	20	北九州市	40

全国との比較

ICTを活用した学習状況

5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

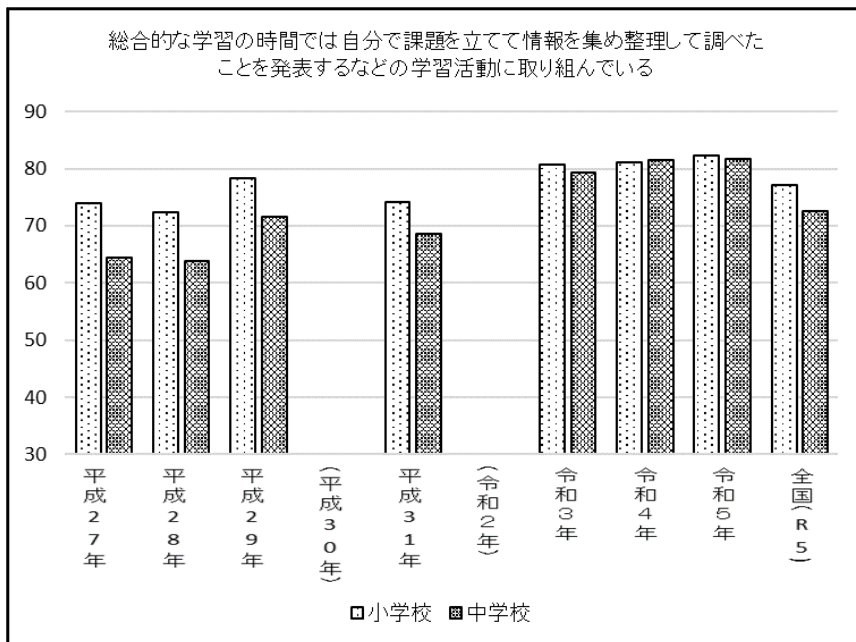
	本市 (R4)	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
ほぼ毎日使用している割合				
小学校	31.7%	29.8%	28.2%	+1.6
中学校	28.3%	35.6%	28.1%	+7.5
ほぼ毎日、週3回以上を合計した割合				
小学校	65.7%	67.4%	62.4%	+5.0
中学校	64.4%	73.9%	61.1%	+12.8

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

	本市 (R4)	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
小学校	94.6%	<u>95.2%</u>	95.1%	+0.1
中学校	90.7%	<u>94.1%</u>	93.3%	+0.8

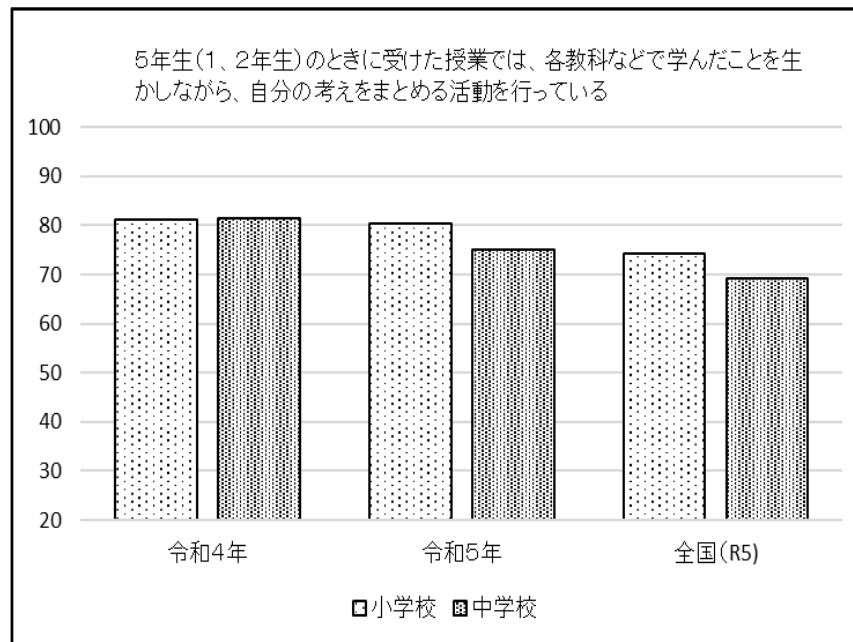
全国との比較

5ポイント以上開きがあった質問項目（+5ポイント以上）



	H27	H28	H29	H31	R 3	R 4	R 5	全国 R5
小	73.9%	72.3%	78.3%	74.2%	80.7%	81.1%	82.2%	74.8%
中	64.5%	63.8%	71.6%	68.5%	79.3%	81.5%	81.7%	72.6%

小学校+7.4
中学校+9.1



	R 4	R 5	全国 R4
小	81.1%	80.5%	74.4%
中	81.5%	75.2%	69.1%

小学校+6.1
中学校+6.1

5ポイント以上開きがあった質問項目（+5ポイント以上）

学習に対する興味・関心や授業の理解度等

★新規項目

小学校

国語

★国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている。

	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
小学校	82.5%	76.8%	+5.7

国語

★国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。

	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
小学校	76.3%	71.1%	+5.2

中学校

国語

★国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している。

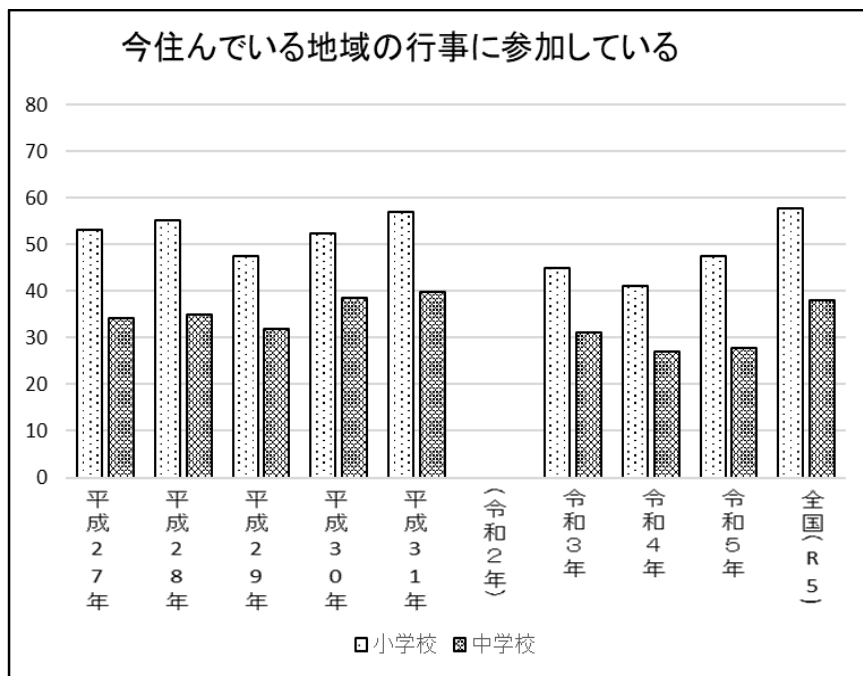
	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
中学校	72.6%	65.9%	+6.7

英語

★1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。

	本市 (R5)	全国 (R5)	全国との差 (R5)
中学校	75.2%	63.8%	+11.4

5ポイント以上開きがあった質問項目（－5ポイント以上）



	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5
小	53.1%	55.3%	47.4%	52.5%	57.0%	45.0%	41.1%	47.5%
中	34.3%	35.0%	31.9%	38.6%	39.9%	31.2%	27.1%	27.7%

	全国 R4	全国 R5
小	57.8%	57.8%
中	38.0%	38.0%

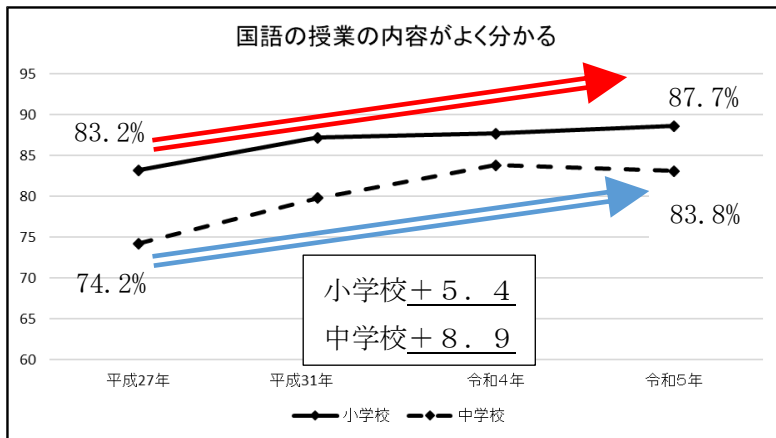
本市R4とR4全国との差
 小学校－11.6
 中学校－12.9

本市R5とR5全国との差
 小学校－10.3
 中学校－10.3

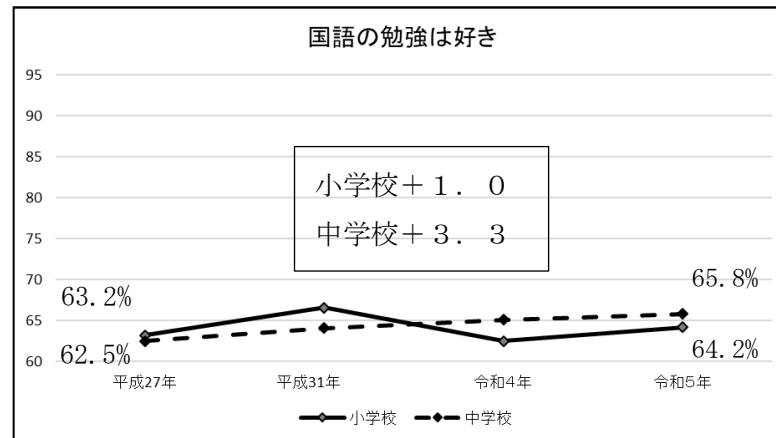
経年による比較（平成27年度と令和5年度）

学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）

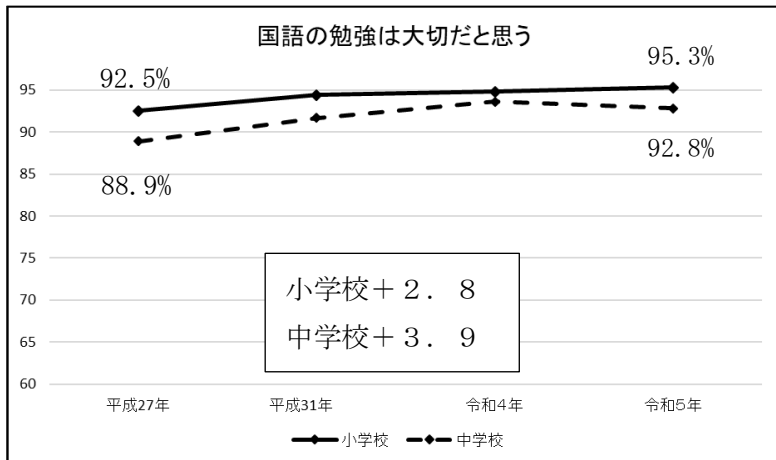
※ 平成27年度と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、⇒をつけた。



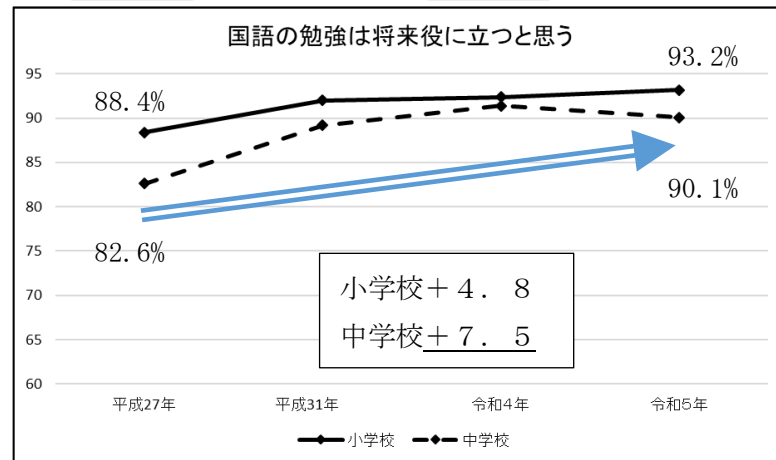
	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	83.2%	87.2%	87.7%	88.6%	85.7%
中	74.2%	79.8%	83.8%	83.1%	80.0%



	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	63.2%	66.6%	62.5%	64.2%	61.5%
中	62.5%	64.1%	65.1%	65.8%	61.4%



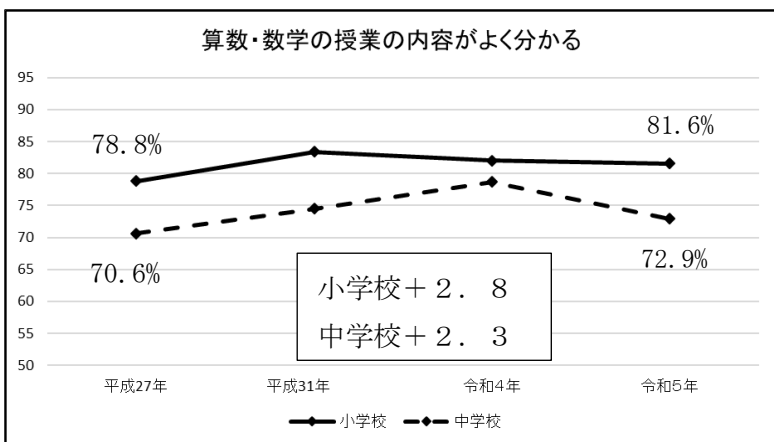
	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	92.5%	94.4%	94.8%	95.3%	94.2%
中	88.9%	91.7%	93.6%	92.8%	92.4%



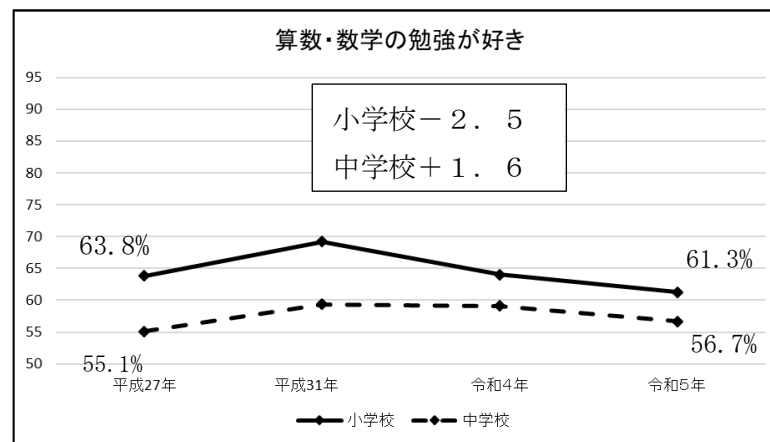
	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	88.4%	92.0%	92.4%	93.2%	92.8%
中	82.6%	89.2%	91.4%	90.1%	88.7%

学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）

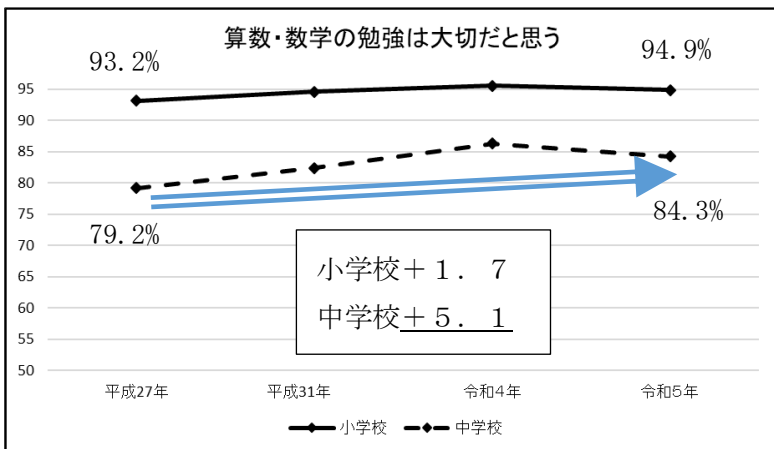
※ 平成 27 年度と比較して、± 5 ポイント以上の開きがある場合は、⇒をつけた。



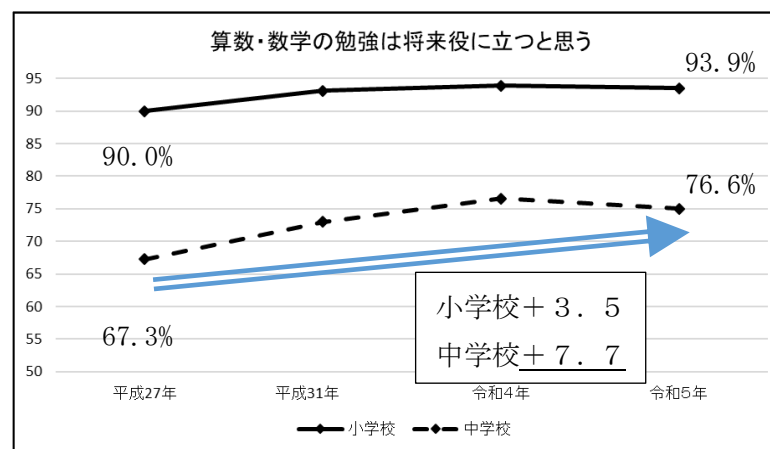
	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	78.8%	83.4%	82.0%	81.6%	81.2%
中	70.6%	74.5%	78.7%	72.9%	73.3%



	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	63.8%	69.2%	64.0%	61.3%	61.4%
中	55.1%	59.4%	59.1%	56.7%	56.7%



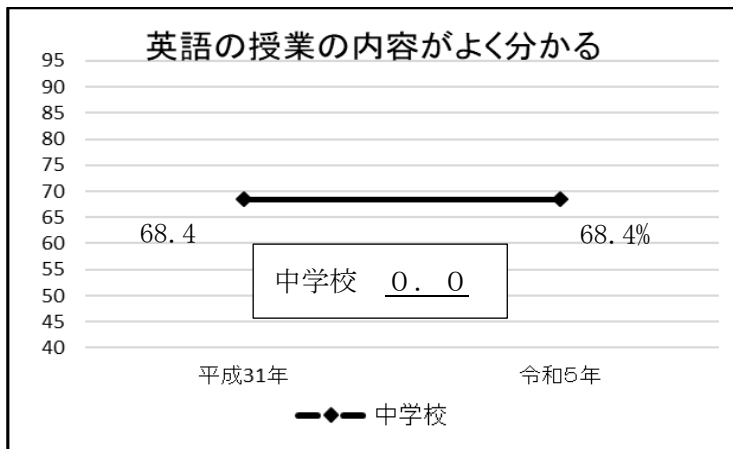
	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	93.2%	94.6%	95.6%	94.9%	94.2%
中	79.2%	82.4%	86.3%	84.3%	85.0%



	H27	H31	R 4	R 5	参考 全国 R5
小	90.0%	93.1%	93.9%	93.5%	93.3%
中	67.3%	73.0%	76.6%	75.0%	75.8%

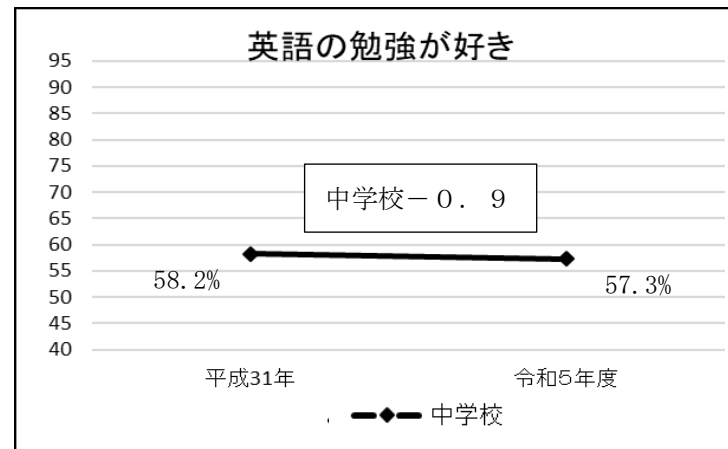
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

※ 前回調査と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、⇒をつけた。



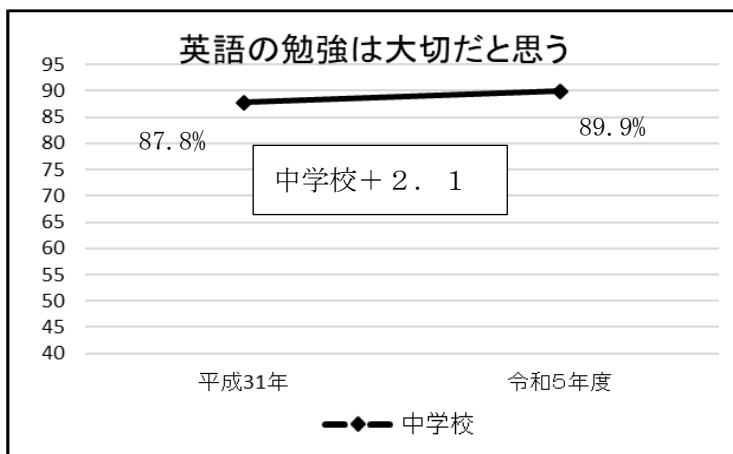
	H31	R 5
中	68.4	68.4%

参考	全国 R5
	63.9%



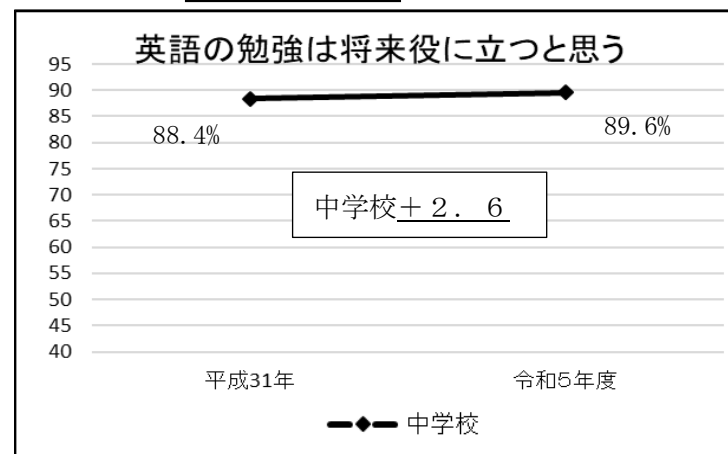
	H31	R 5
小	—	66.7%
中	58.2%	57.3%

参考	全国 R5
	69.3%
	51.9%



	H31	R 5
小	—	92.6%
中	87.8%	89.9%

参考	全国 R5
	91.3%
	88.0%



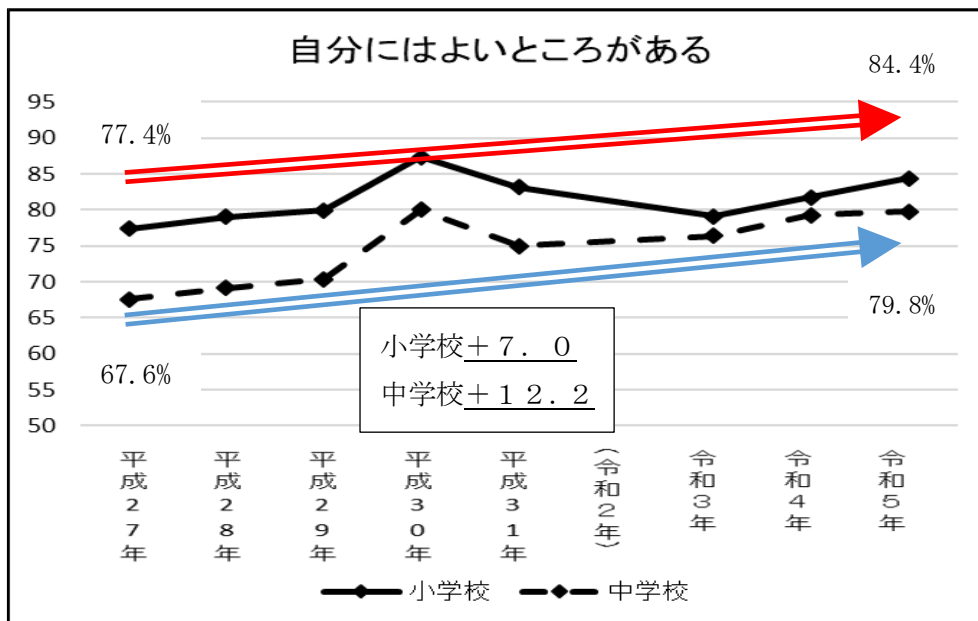
	H31	R 5
中	88.4%	89.6%

参考	全国 R5
	87.5%

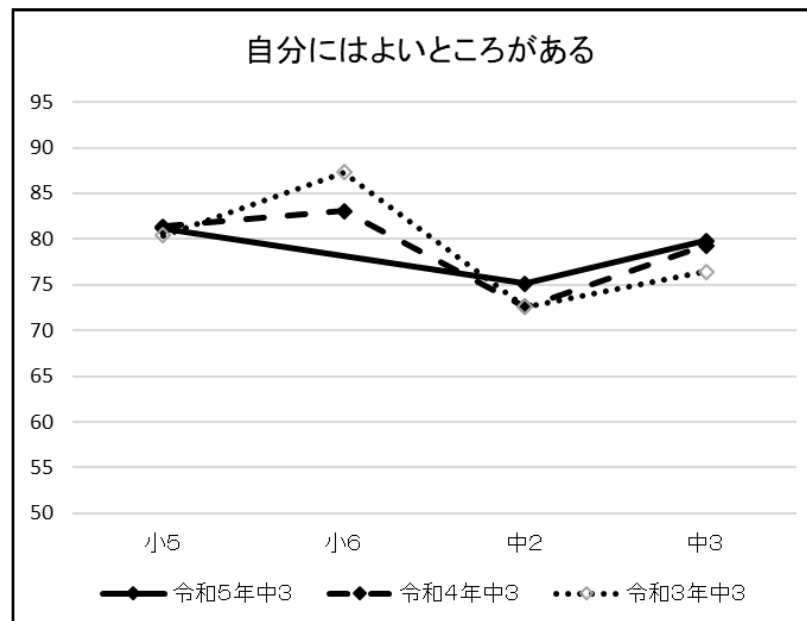
経年による比較（平成 27 年度と令和 5 年度）及び同一集団での比較

自己有用感等

経年による比較（平成 27 年度と令和 5 年度）



同一集団での比較

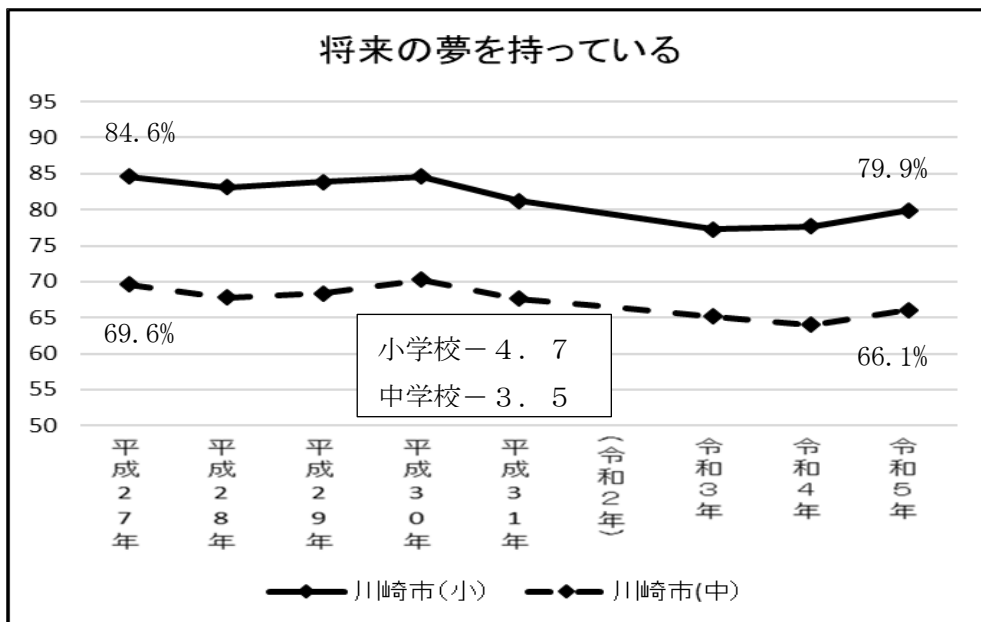


	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5
小	77.4%	79.0%	79.9%	87.3%	83.1%	79.1%	81.7%	84.4%
中	67.6%	69.1%	70.4%	80.0%	75.0%	76.4%	79.3%	79.8%

	参考 全国 R5
小	83.5%
中	80.0%

	市調査 小 5 (H31)	全国調査 小 6 (H31)	市調査 中 2 (R 4)	本調査 中 3 (R 5)	中 2 との 差
令和 5 年中 3	81.2%	—	75.1%	79.8%	+ 4. 7
令和 4 年中 3	81.4%	83.1%	72.6%	79.3%	+ 6. 7
令和 3 年中 3	80.4%	87.3%	72.6%	76.4%	+ 3. 8

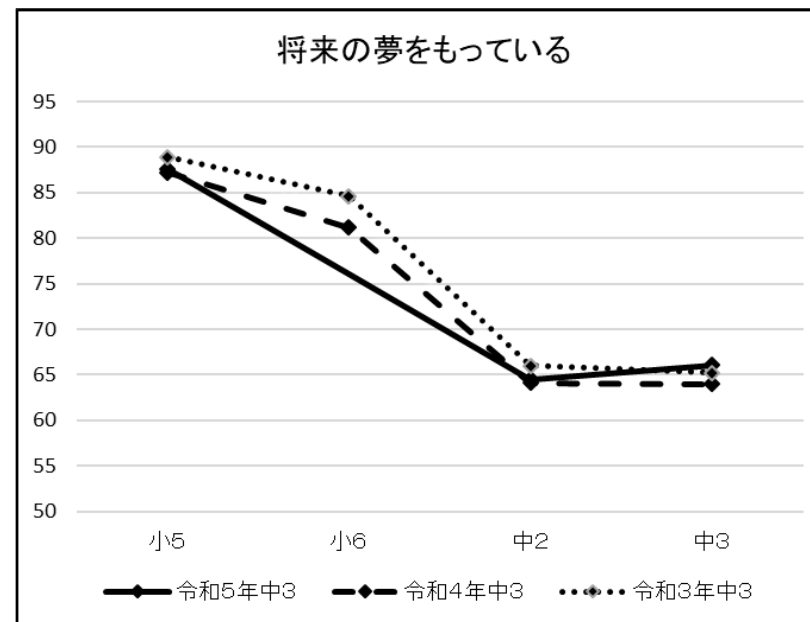
経年による比較（平成 27 年度と令和 5 年度）



	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5
小	84.6%	83.1%	83.9%	84.6%	81.2%	77.3%	77.7%	79.9%
中	69.6%	67.8%	68.4%	70.3%	67.6%	65.2%	64.0%	66.1%

	参考 全国 R5
小	81.5%
中	66.3%

同一集団での比較



	市調査 小 5 (H31) (H30) (H29)	全国調査 小 6 (R 2) (H31) (H30)	市調査 中 2 (R 4) (R 3) (R 2)	本調査 中 3 (R 5) (R 4) (R 3)	中 2 との 差
令和 5 年 中 3	87.6%	—	64.5%	66.1%	+ 1.6
令和 4 年 中 3	87.2%	81.2%	64.1%	64.0%	- 0.1
令和 3 年 中 3	88.9%	84.6%	66.0%	65.2%	- 0.8

全国との比較

幸福感等

★は新規項目

★友達関係に満足していますか。

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	91.7%	90.3%	+ 1. 4
中学校	89.4%	88.7%	+ 0. 7

★普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	91.6%	91.0%	+ 0. 6
中学校	87.4%	86.8%	+ 0. 6

※「よくある」「ときどきある」と回答した割合を合計

家庭での本の所有数、読書に関すること

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。(雑誌、新聞、教科書は除く)

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	62.7%	66.7%	- 4. 0
中学校	62.4%	66.5%	- 4. 1

※0冊～100冊と回答したものを合計した割合

読書は好きですか。

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	68.9%	71.8%	- 2. 9
中学校	59.9%	66.0%	- 6. 1

新聞を読んでいるか

新聞を読んでいますか。

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	14.8%	12.6%	+ 2. 2
中学校	7.4%	8.1%	- 0. 7

※ 「ほぼ毎日」、「週 1 ～ 3 程度」と回答した割合を合計

端末持ち帰り（学校質問紙）

あなたの学校では、児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの端末をどの程度家庭で利用できるようにしていますか。

	本市 (R 5)	全国 (R 5)	全国との差 (R 5)
小学校	34.8%	32.5%	+ 2. 3
中学校	37.8%	40.9%	- 3. 1

※ 「毎日持ち帰って、毎日利用させている」「毎日持ち帰って、時々利用させている」と回答した割合を合計